

ディスクロージャー 2008

D I S C L O S U R E

JAバンクの安心経営を
公開いたします。

JAバンクは時代をみつめ、
健全経営をめざしています。

金融機関としての安全性、健全性は…

自己資本比率

当JAの「自己資本比率」は、国内基準の4%を大きく上回っており、
安心してお取り引きいただけます。

自己資本額 **73億円** 自己資本比率 **29.01%**

平成19年度の経営状況は…

経営状況

当JAは、「地域社会への貢献」と「健全経営」を目指し、お客様のニーズに応えるべく、経営体制の構築を図っております。

経常利益 **7億3,441万円**

当期剰余金 **5億655万円**

営業実績・資産内容を説明します。

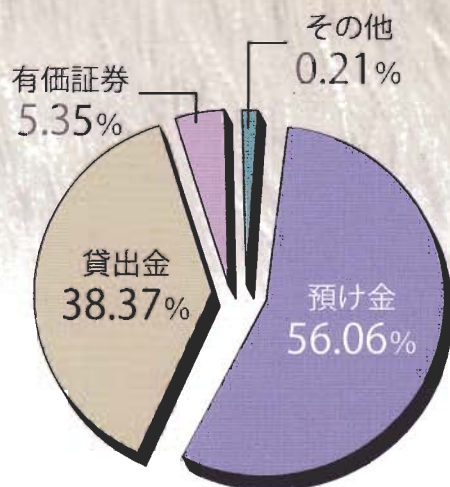
資産内容

当JAは、資金の安定・充実に努めております。

貯金残高 **691億円**

貸出金残高 **289億円**

総資産 **772億円**



金融再生法開示債権額(平成19年度末)は、下記のとおりとなっております。

金融再生法開示債権額 (平成20年3月末)

債権区分	債権額(百万円)
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	0
危険債権	16
要管理債権	0
小計	16
正常債権	28,962
合計	28,978

※本表は端数を切捨処理しているため内訳の合計は一致しません。

JAバンクは、「安定」・「健全」をモットーに！ JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度



破綻未然防止システム
JAバンク支援制度

当JAの貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度」との2重のセーフティーネットで守られています。これにより、組合員・利用者の皆さまにより一層の安心をお届けいたします。

経営の健全性とは。

経営の健全性をはかる指標として、「自己資本比率」が用いられますが、その基準は次のようになっています。

国内基準…… 4%以上

国際基準…… 8%以上

(海外に拠点をもつ金融機関)

JAバンク東京信連の経営内容

JAバンク東京信連はJAと一体になって、信用事業を行なっています。その経営内容は次のとおりとなっています。

自己資本額 1,118億円

経常利益 53億円

自己資本比率 24.05%

当期剰余金 45億円

《主要計数》


貯金残高 2兆1,009億円

有価証券残高 7,264億円

貸出金残高 1,232億円

預け金残高 1兆3,019億円

(平成20年3月現在)

 JA世田谷目黒

本

店 TEL.03-3428-8111

赤堤支店

TEL.03-3328-9111